



2022年1月24日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
 (コード番号：4588)
 問 合 せ 先 取 締 役 吉村 圭司
 (TEL.03-5472-1578)

業績予想の修正並びに 営業外収益及び営業外費用の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年2月12日に公表しました2021年12月期の業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせします。また、2021年12月期累計期間（2021年1月1日～2021年12月31日）において、営業外収益及び営業外費用を計上しましたので、あわせてお知らせいたします。

1. 通期の業績予想の修正について

(1)業績予想の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

（百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A) (2021年2月12日発表)	350 ～ 700	△2,000 ～ △1,650	△2,000 ～ △1,650	△2,000 ～ △1,650	△136.59 ～ △112.69
今回予想値 (B)	642	△1,421	△1,468	△1,582	△93.57
増減額 (B-A)	△58 ～ 292	229 ～ 579	182 ～ 532	68 ～ 418	19.12 ～ 43.02
増減率 (%)	△8.2 ～ 83.4	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 2020年12月期	314	△1,674	△1,723	△2,095	△145.58

(2)修正の理由

2021年12月期累計期間（2021年1月1日～2021年12月31日）の売上高は、既に開示しています2021年1～9月の累計売上高318百万円に加えて、2021年12月に中外製薬に請求

したテロメライシンの製法開発協力金などを中心として2021年10～12月に売上高324百万円を積み上げた結果、前回発表予想値の下限を上回り、642百万円となる見込みです。

一方、利益面につきましては、テロメライシン製法開発の進展遅延や米国での臨床試験の組入れ遅延など研究開発費を中心に販売費及び一般管理費が期初想定を下回りました。また、営業外収益及び営業外費用の発生、並びに2021年12月24日に開示済みの特別損失の発生等により、前回発表予想値より損失額が圧縮された営業損失1,421百万円、経常損失1,468百万円、当期純損失1,582百万円へ修正します。

2. 営業外収益及び営業外費用の計上について

(1) 営業外収益及び営業外費用の内容

2021年12月期累計期間（2021年1月1日～2021年12月31日）において、総額38百万円の営業外収益を計上いたしました。営業外収益の発生要因は、外貨建て資産の評価替えによる為替差益37百万円等によるものです。また、同期間において、総額84百万円の営業外費用を計上いたしました。営業外費用の発生要因は、人件費の一括償却による譲渡制限付株式報酬償却68百万円、株式交付費11百万円等によるものです。

(2) 業績への影響

営業外収益及び営業外費用の計上による2021年12月期通期業績への影響は、上記「1. 通期の業績予想の修正について」の記載に織り込んでいます。なお、2021年12月期通期決算は、2022年2月10日に発表を予定しています。

以 上